

第6学年 道徳科学習指導案

日時 令和4年7月6日(水) 第5校時

対象 第6学年3組 30名

授業者 藤本 梨央

会場 4階 6年3組教室

研究主題

めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成
～キャリア教育を通して～

1 単元名

「働く」って、どういうこと？

2 単元の目標

さまざまな職業に就く人々の姿を描いた1枚の絵や、働く人のエピソードとアンケート調査結果を通して、人は何のために働くのかを考えさせ、働くことの意義を理解し、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。

3 単元の評価規準

道徳的価値の理解	道徳的価値の理解を基に自己を見つめる	道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える	道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める
働くことは、自分のためだけでなく、社会の中の役割や使命を果たすものだということに気づいている。	働くということに対して、自分はどんな考えをもっているか、自分を見つめている。	働くことを巡って、人にはさまざまな思いがあることを知り、自分の考えを広げている。	将来、自分は職業を選ぶときに何を大切にしたらよいか、またどんなことにやりがいを感じるかを想像している。

4 単元設定の理由

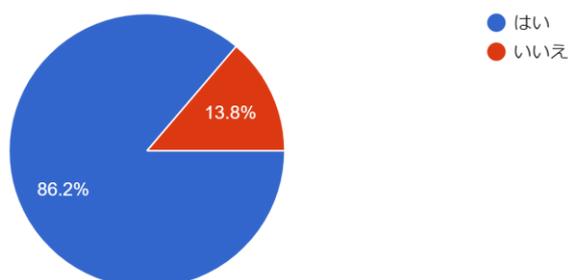
(1) 教材について

人生をよりよく生きていくためには、集団の一員として、自らの役割を積極的に果たし、社会に貢献することへの喜びをもつことが大切である。社会に貢献していくための手段の1つが「働くこと」である。生活を営むための糧を得るという目的に加え、自らが仕事を通して社会に参画し、社会的責任を果たしているということに自覚することで、人は喜びや誇りをもって働くことができる。教材を通して、「働くこと」の意義や社会の役に立つ喜びに気づき、将来に向けての勤労観・職業観の育みにつなげたい。

(2) 児童の実態

本学級の全児童30名中29名に対し、「自分の将来について、考えたことがありますか。」「大人になったら、どんな仕事をしたいと思いますか。」というアンケートを行った。「自分の将来について、考えたことがありますか。」に対する回答は、86.2% (25人) があると回答していた。「大人になったら、どんな仕事をしたいと思いますか。」に対しては、スポーツ選手、美容師、保育士、警察官、建築士、アパレルショップ店員、パイロットなどの職業名を回答する児童と、人の役に立てる仕事、自分が得意なことに関する仕事、安定した高収入な仕事などの回答があった。約90%の児童が自分の将来について考えたことがあり、関心があることが分かる結果になっている。

自分の将来について、考えたことがありますか。
29件の回答



(3) 教師の願いと指導の工夫

まず、さまざまな働く人の姿を描いた絵で、身の回りには多くの仕事があることに気付かせる。次に、資料で実際に働く人の思いについて考える。最後に、アンケート調査から、仕事のやりがいについて考える。複数の資料を扱うことにより、多面的・多角的に、働くこととは何かを考えさせていきたい。学習の中で、自分もいつか働くことを想像し、将来への希望を高めることや、仕事のよさについて考えられるようにしたい。

本単元の学習は、キャリア教育で育成すべき力である基礎的・汎用的能力のうち、「キャリアプランニング能力」の育成に関連する。「キャリアプランニング能力」とは、小学校キャリア教育の手引きにおいて、

「働くこと」の意義を理解し、自ら果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力である。

と記載されている。この能力は、社会人・職業人として生活していくために生涯にわたって必要となる能力である。本単元において、学ぶこと・働くことの意義や役割、多様性を理解し、自分の将来を見据えた行動をとろうとすることにつながればよいと思う。

6 研究主題に迫るための手立て

(1) 児童が働くことに興味をもち、意欲的に考えようとするための資料提示

児童のアンケート結果で多く挙げたスポーツに関する仕事や、世界的に取り上げられているニュースに関する仕事を取り上げること、身近な人に実際にインタビューをした話や写真を教材として扱うことで、興味をもち意欲的に考えることを促す。また、どの仕事にも、そこで働く人の思いや考えがあることに気付かせる。

(2) タブレット端末を活用した意見交流

Jamboard を活用した意見交流を行うことで、どの児童も参加意識が高まると考える。また、多くの意見を共有することで、働くことについての考えの多様性に気付かせ、自分の考えを広げることにつなげたい。

7 本時

(1) 本時のねらい

さまざまな職業に就く人々の姿を描いた1枚の絵や、働く人のエピソードとアンケート調査結果を通して、人は何のために働くのかを考えさせ、働くことの意義を理解し、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。

(2) 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★研究主題に迫るための手だて
導入	1 アンケートの結果を発表する。 私たちは、何のために働くのだろう。	・「働くこと」に関して、自らはどのような考えをもっているのかを明らかにすることで、学習への意識を高める。
展開	2 資料1、2を読み、話し合う。 ○渡辺さんと三好さんは、どんな思いをもって働いているでしょう。 三好さん ・子どもの頃に所属しお世話になったチームに、自分なりに恩返しをしたいという思い。 ・自分がずっと好きだったサッカーに関わることで、楽しみながら仕事を続けていきたいという思い。 渡辺さん ・日本人が日本語でレポートすることで、身近なニュースとして考えるきっかけになってほしいという思い。	・どの仕事にも、働く人にはさまざまな思いや使命感があることに気付かせる。 ★児童が働くことに興味をもち、意欲的に考えようとするための資料提示 

	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な仕事だけれど、自分のしたことが誰かのためになるのだという使命感。 <p>3 人は何のために働くのかを考える。</p> <p>◎私たちは、何のために働くのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことに一生懸命取り組み、充実感を得るため。 ・社会や人の役に立つため。 ・その仕事や役割を必要としている人のため。 ・社会が住みやすくなるため。 <p>4 資料3を読み、本時の学習を振り返る。</p>	<p>★タブレット端末を活用した意見交流</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末(Jamboard)を活用することで、多くの考えを短時間で共有し、視覚的に分かりやすく確認できるようにする。 <p>◇人は何のために働くのかを考え、働くことの意義を理解し、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育むことができたか。(Google form)</p>
<p>まとめ</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p>	

「働く」って、どういうこと？」

私たちは、何のために働くのだろう

○渡辺さんと三好さんは、どんな思いをもつて働いているでしょう。

三好さん

・子どもの頃に所属しお世話になったチームに、自分なりに恩返しをしたいという思い。

・自分がずっと好きだったサッカーに関わることで、楽しみながら仕事を続けていきたいという思い。

渡辺さん

・日本人が日本語でレポートすることで、身近なニュースとして考えるきっかけになってほしいという思い。

・危険な仕事だけれど、自分のしたことが誰かのためになるのだという使命感。

◎私たちは、何のために働くのだろう。

成果と課題

① 児童にとって身近な資料提示が、働く人の思いや考えに気付かせることに効果的だったか。

成果

- ・教科書の内容だとあまり身近ではなく、子供が興味関心をもてないのではないかと考え、友人にインタビューをし、自作の教材を使用した。子供たちが資料にくいつき、身近な視点で考えられた。
- ・「楽しいことを仕事にした」「大変だけど、やりがいがあると思った」という対照的な二人の資料を比べながら、働く人には様々な思いや考えがあることに気付くことができていた。

課題

- ・「公共のために役に立とうとする実践意欲と態度」に対して本時でどこまでねらえるかが課題である。

②Jamboard を活用した意見交流が、働くことについての考えの多様性に気付いたり、自分の考えを広げたりすることに効果的だったか。

成果

- ・多様性を視覚的に捉えることができていた。
- ・ジャムボードに書かれた意見に対して、さらに児童に考えを聞いた。教師が意図的に話を広げ、問い返すことで、児童の考えが深まった。

課題

- ・たくさん意見を書かせることで多様な意見が出たが、議論を深めたい場合、思いの強い意見を一つのみ書かせるというやり方も、内容によって取り入れていく必要がある。